

資産運用業界の役割と責任

—コーポレートガバナンスの強化に向けて—

岩間 陽一郎

目 次

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1. はじめに | への対応等に関するアンケートより— |
| 2. 日本企業の中長期的な企業価値向上に向けた取組み | 4. 英国の動向 |
| 3. 運用会社のスチュワードシップ・コードへの取組み—日本版スチュワードシップ・コード | 5. 機関投資家のガバナンス（フィデューシャリー・デューティー） |
| | 6. 今後の展望 |

中長期的な企業価値向上を促すことを目的とした「日本版スチュワードシップ・コード」と「コーポレートガバナンス・コード」が相次いで策定・公表され、ステークホルダーの一翼を担う資産運用業界の役割に対する期待が今まで以上に高まっている。本稿では、これまでの一連の取組みを概観した上で、日本投資顧問業協会会員の日本版スチュワードシップ・コードへの取組み状況につきアンケート結果を用いて確認する。加えて、日本よりいち早く両コードを導入した英国の現状を確認し、今後の展望について整理する。

1. はじめに

2014年2月に策定された「日本版スチュワードシップ・コード」および15年6月から適用開始となった「コーポレートガバナンス・コード」によるコーポレートガバナンスの強化は、経済再生に向けた日本（企業）の「稼ぐ力」を高める経済成長戦略の一環として位置付けられている。ア

セットオーナーおよび資産運用会社等の機関投資家は、本来投資先企業のガバナンスなどをモニターし、必要に応じて建設的な対話を行うことにより、当該企業の中長期的な成長を促す役割を担う。他方で、企業は、株主をはじめとした様々なステークホルダーの立場を踏まえた上で、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行うための仕組みであるコーポレートガバナンス・コードに準拠し、



岩間 陽一郎（いわま よういちろう）

一般社団法人日本投資顧問業協会会長。1967年東京大学法学部卒業。同年4月、東京海上火災保険(株)（現東京海上日動火災保険(株)）入社。取締役投資部長、常務取締役財務本部長、専務取締役、東京海上アセットマネジメント投信(株)（現東京海上アセットマネジメント(株)）代表取締役社長を経て、10年6月より現職。金融・資本市場活性化有識者会合、スチュワードシップ・コードおよびコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議各メンバー、持続的成長に向けた企業と投資家の対話促進研究会、東京国際金融センターの推進に関する懇談会各委員。